

様式-1-② (記載例)

日本下水道事業団

契約職 氏 名 殿  
○○○○

提出年月日	令和 年 月 日	契約変更日	令和 年 月 日
工 期	自 令和 年 月 日	工 期	自 令和 年 月 日
元	至 令和 年 月 日	改	至 令和 年 月 日

工事請負契約書第3条の規定に基づき工程表を提出します。

工 事 工 程 表 (第 回変更)

受注者 住 所  
氏 名

印

工事名																印	
工 種	種 別	単 位	数 量	月												摘 要	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		月
(記入例)																	
管路施工																	
	φ1,000mm 管 布 施 工																
	マンホール設置工																

- (注) 1 提出年月日は契約変更日から14日以内とする。  
 2 バーチャートによる。  
 3 工期を変更した場合は [ ] で示す。  
 4 原則として工事設計書の様式3 本工事費内訳書に記載された工種、種別に従って記入する。  
 5 ( 回) には、変更契約書の回数を記入する。  
 6 用紙の大きさは、日本産業規格A4判とする。  
 7 受注者は、代表者又は代表者から委任を受けている者とする。



# 工 事 予 定 ・ 履 行 報 告 書

令和 5 年 10 月度 工事件名:

〇〇市〇〇浄化センター水処理設備工事その〇

計画No.	3	計画報告日	令和5年9月25日
報告No.		実施報告日	

	10	10月																												11						
<月>	10																																			
<日>	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	
<曜日>	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
<天気>																																				
【現場の閉所】	計画	閉	閉					閉	閉	閉					閉	閉							閉	閉					閉	閉					閉所：閉	
	実施																																			
【休日・夜間作業】	計画																																		休日：● 夜間：★	
	実施																																			
【計画（黒）】の下に【実施（赤）】 機器・材料搬入  最初沈殿池設備 初沈流入可動堰 撤去更新  生汚泥ポンプ、床排水ポンプ 撤去更新  反応タンク設備 No.1反応タンク 散気装置、 嫌気槽攪拌機 撤去更新 No.1反応タンク 隔壁築造  送風機設備 No.3送風機 撤去更新  複合工 覆蓋ほか 撤去更新	搬入③																																	【備考】 搬入③ 初沈用汚泥引抜弁 生汚泥ポンプ 初沈用床排水ポンプ No.1反応タンク散気装置 搬入④ No.1反応タンク嫌気槽用攪拌機 搬入⑤ 湿式エアフィルター 乾式エアフィルター No.3送風機		
	搬入④																																			
	搬入⑤																																			
	配筋、型枠																																			
	コン打設																																			
	養生																																			
	脱型、仕上げ(11/7まで)																																			
既設撤去、墨出し																																				
型枠																																				
コン打設																																				
養生																																				
脱型、仕上げ(11/7まで)																																				
配筋、型枠																																				
コン打設																																				
養生																																				
脱型、仕上げ(11/7まで)																																				
新規受枠設置																																				
コン打設																																				
養生																																				
養生																																				
仕上げ																																				
仕上げ、覆蓋設置(11末まで)																																				

【監督職員による段階確認】	計画	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	段階確認予定日：◆
	実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	現場臨場：● 遠隔臨場：◎ 机上確認：○	

【主要行事】																																			【進捗状況(累計%)】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">10月</td> <td style="width: 15%;">11月</td> <td style="width: 15%;">11月</td> </tr> <tr> <td>予定</td> <td>実施</td> <td>予定</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td></td> <td>45</td> <td>—</td> </tr> </table>		10月	11月	11月	予定	実施	予定	実施	40		45	—
		10月	11月	11月																																											
	予定	実施	予定	実施																																											
	40		45	—																																											
機器材料搬入立会い③																																															
機器材料搬入立会い④																																															
基礎コンクリート打設																																															
機器材料搬入立会い⑤																																															
月例工程会議(毎月第4水曜日)																																															

(注) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A3判とする。  
 2 JS版工事情報共有システム(JS-INSPIRE)を活用しない場合は、現場代理人が押印して必要部数を提出する。  
 3 必要に応じて別紙を添付する。

工 事 予 定 ・ 履 行 報 告 書

令和 5 年 10 月度 工事件名:

〇〇市〇〇浄化センター水処理設備工事その〇

計画No.	3	計画報告日	令和5年9月25日
報告No.	3	実施報告日	令和5年11月2日

<月>		10月																												11								
<日>		30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3		
<曜日>		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
<天気>																																						
【現場の閉所】	計画	閉	閉						閉	閉	閉					閉	閉																				閉	
	実施	閉	閉						閉	閉	閉					閉	閉																					閉
【休日・夜間作業】	計画																																					
	実施																																					
【計画（黒）】の下に【実施（赤）】 機器・材料搬入 最初沈殿池設備 初沈流入可動堰 撤去更新 生汚泥ポンプ、床排水ポンプ 撤去更新 反応タンク設備 No.1反応タンク 散気装置、 嫌気槽攪拌機 撤去更新 No.1反応タンク 隔壁築造 送風機設備 No.3送風機 撤去更新 複合工 覆蓋ほか 撤去更新	搬入③																																					
	搬入④																																					
	搬入⑤																																					
	配筋、型枠																																					
	コン打設																																					
	養生																																					
	脱型、仕上げ(11/7まで)																																					
既設撤去、墨出し																																						
型枠																																						
コン打設																																						
養生																																						
機器据付																																						
機器据付、配管据付(11末まで)																																						
脱型、仕上げ(11/7まで)																																						
配筋、型枠																																						
コン打設																																						
養生																																						
脱型、仕上げ(11/7まで)																																						
新規受枠設置																																						
コン打設																																						
養生																																						
養生																																						
仕上げ																																						
仕上げ、覆蓋設置(11末まで)																																						

〇〇製作所(株)  
現場代理人 〇〇 〇〇 印

晴:○ 雨:● 曇:◎ 雪:※

閉所:閉

休日:● 夜間:★

【備考】

搬入③ 初沈用汚泥引抜弁  
生汚泥ポンプ  
初沈用床排水ポンプ  
No.1反応タンク散気装置

搬入④ No.1反応タンク嫌気槽用攪拌機

搬入⑤ 湿式エアフィルター  
乾式エアフィルター  
No.3送風機

【監督職員による段階確認】	計画		◆	◆	◆			◆																													
	実施		●	●	●			●																													

段階確認予定日:◆  
現場臨場:● 遠隔臨場:◎ 机上確認:○

【主要行事】	搬入③																																				
	搬入④																																				
	コンクリート打設(エアタン隔壁)																																				
	基礎コンクリート打設																																				
	搬入⑤																																				
	月例工程会議(毎月第4水曜日)																																				

【進捗状況(累計%)】			
	10月	11月	
予定	40	45	—
実施	42	—	—

【週休2日】		
現場閉所の報告(累計)		
現場閉所の日数	31	日
対象期間の日数	31	日
現場閉所率	100	%

注) 累計は、現場着工から当該月末までとする。

(注) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A3判とする。  
 2 JS版工事情報共有システム(JS-INSPIRE)を活用しない場合は、現場代理人が押印して必要部数を提出する。  
 3 必要に応じて別紙を添付する。